

コード	502031601
記入日:	H22.6.10

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	高木豊昭

## 事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	鯨賓館管理運営費
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	502	施策名称	生涯学習の充実	項コード	5
基本事業コード	50203	基本事業名称	生涯学習基盤の整備	目コード	5
事務事業コード	5020316	事務事業名称	鯨賓館管理運営費	細目コード	1000
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町鯨賓館ミュージアム条例	

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1)	ミュージアム利用者	(対象指標1)	6,761人				
(対象2)	ホール利用者	(対象指標2)	13,320人(前年度実績数)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	適正な維持管理を行い、イベントを開催した。保守点検回数3回、イベント開催回数3回	*****	*****	*****	保守点検回数3回÷計画した保守点検回数3回	*****	
		①	保守点検回数	3回	100%		平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり実施した。				
		*****	*****	*****	イベント開催件数3回÷計画したイベント開催件数4回	*****	
②	イベント開催件数	3件	75%		平成21年度		
(達成率分析)	開催日日程を調整するにあたり、不都合が生じた。						
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
捕鯨史を中心とした歴史、芸術、民族、産業及び自然科学等に関する資料を収集保存し、郷土の歴史文化に関する住民の知識を深めることで、伝統文化の継承を図っていくことを目的として管理運営を行っている。また、ホールでのイベントを数多く開催することでミュージアムとの相乗効果を図っていく。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	開館した日数315日÷開館すべき日数315日	*****	
		①	開館した日数	315日	100%		平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり実施できた。				
*****	*****	*****	利用者数11,638人÷計画した利用者数13,320人	*****			
②	利用者数	11,638人	87%		平成21年度		
(達成率分析)	前年度利用者数を基準として計画したが、新型コロナウイルスの影響により計画実行を自粛したため計画以上の実施ができなかった。						

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	9	9	6	3	3					
	② 件	17	16	13	4	3					
成果指標	① 日	1,549	1,241	926	315	315					
	② 人	57,237	55,555	43,917	13,320	11,638					
総事業費C(A+B)	千円	113,266	113,927	82,594	30,672	31,333					
直接事業費A	千円	36,266	36,927	26,594	9,672	10,333					
人件費B	千円	77,000	77,000	56,000	21,000	21,000					
内訳	従事職員数	人	11.0	11.0	8.0	3.0	3.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	113,266	113,927	82,594	30,672	31,333					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町の財産でもあり、当然町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	普遍的なものであり、かつ継承してゆく上で当然行うべきものである。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	町有施設の維持管理であり、適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	適正な維持管理はできているが、前年度と比べて利用者は減少している。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	ミュージアム展示物の充実と魅力ある自主事業の開催により、利用者の増加が見込まれる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	適正な維持管理ができなくなり、施設が利用できなくなる。また、伝統文化の継承や文化生活の衰退に繋がる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	類似事業はないため、整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	活動を行うための必要な部分を計上しているので、これ以上の削減はできない。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	維持管理上、現在の人員を減らすことはできない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	新上五島町鯨賓館ミュージアム条例に沿っており適切である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	展示物の充実と魅力ある事業の実施により参加者を増やすことにより、有効性を上げることができる。
		効率性	これ以上の削減は、運営を維持する上でできない。
		課題に向けた改善策	このまま事業を継続
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	郷土の歴史・文化を継承する役割と、イベントによる地域コミュニティーを向上させる役割を持つ施設として利用効果の高い施設である。今年度は事業の自粛もあり利用者数が減少したが、新規企画を検討しつつ利用率を高めること。また今後もその維持・管理に努めること。
		効率性	経費の執行については、適正に行い節減に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。